

コロナ対策のための
リハーサル運営ガイドライン

2020/6/1 作成
2022/1/19 修正
2023/3/15 改訂

中央区交響楽団 運営委員会

新型コロナウイルス対策としてのマスク着用が、2023年3月13日から屋内外を問わず「個人の判断」に委ねられたことを受け、当楽団のリハーサルのガイドラインを以下のように見直し、実施することとします。

1 大原則

- 1) 体調がすぐれない、発熱などの症状がある場合は、リハーサルを欠席すること。
- 2) リハーサル会場となる各利用施設の利用規定に従うこと。
本ガイドラインと各利用施設の利用規定に相違があった場合、各利用施設の利用規定を優先とする。

2 リハーサル会場入室時

- 1) 楽団として、会場入り口にアルコール消毒剤を配置し、リハーサル会場に入る際は手指の消毒に努めること。
ただし、楽団によるアルコール消毒剤の配置がない場合でも入室は可能とし、施設設置のものなどを使用することとする。

3 マスクの着用について

- 1) 個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断とする。
- 2) 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、配慮する。

4 指揮者の発声について

- 1) 指揮者など声を発する指導者は、マスクなしにおいて発声音量の低減をはかるため、ピンマイク・スピーカーを使用する。

5 検温・換気の実施について

- 1) 施設の規定がない場合、これまで実施してきた検温・換気はおこなわないこととする。

6 管楽器の水抜き対策

- 1) ペットシートなど水の飛び散らないものを各自で用意すること。
- 2) リハーサル終了後は使用したものを各自が持ち帰り処分すること。

7 降り番部屋の使用について

- 1) 密にならないように注意すること。
- 2) 水抜き対策は上記 6 のとおりとする。

以上、各自、ガイドラインをしっかりと実施して、元気に楽しく Musizieren wir zusammen!!